

北 総 の 力

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



全国学力・学習状況調査分析 & 共有を大切に

全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、自校の課題を解決するための手立てを考え、共有していきましょう。

【ポイント1】

令和4年度の「教科・質問紙分析」に何が書いてあり、どれだけ改善に向けた取組ができていたか。

＜教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析＞		
<p>国語の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>本校の正答率は、県との比較で1.0ポイント下回り、全国との比較で2.0ポイント下回った。学習指導要領の内容では、特に「情報の扱いに関する事項」・「書くこと」が県・全国より10～11ポイント程度下回った。その他の分野は、県・全国より0～3ポイント程度下回った。問題形式では「短答式」が1ポイント程度下回り、「選択式」が1ポイント程度下回り、「記述式」が4～7ポイント下回った。以上の結果から、特に、文章を読み取り自分の考えを記述する等、思考を経た表現力に課題がある。</p>	<p>数学の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>本校の正答率は、県との比較で3.0ポイント下回り、全国との比較で4.4ポイント下回った。学習指導要領の領域では、「図形」「関数」が県・全国より4～10ポイント程度下回り、「数と式」「データの活用」が0～2ポイント程度下回った。問題形式では、「選択式」「短答式」が県・全国より1～4ポイント程度下回り、「記述式」が4～5ポイント程度下回った。以上の結果から、各領域の学習内容が十分に身に付いていない。特に、問題解決の方法を数学的に説明する等、思考を経た表現力に課題がある。</p>	<p>理科の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>本校の正答率は、県との比較で2.0ポイント下回り、全国との比較で3.3ポイント下回った。学習指導要領の領域では、「エネルギー」「粒子」「生命」が県・全国より1～3ポイント程度下回り、「地球」が3～4ポイント下回った。問題形式では、「短答式」「選択式」「記述式」が2～4ポイント下回った。以上の結果から、実験の構想や結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を記述する等、思考を経た表現力に課題がある。</p>
＜質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析＞		
<p>学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状</p> <p>全国と比較して平均を上回っている項目は「国語科の指導方法」「数学科の指導方法」「理科の指導方法」「授業改善」「生徒指導」「教職員の資質能力の向上」「家庭や地域との連携」であった。平均を上回っている項目は、今後も向上するように継続して取り組んでいる。平均を下回っている項目は「学校運営」であった。この質問項目は「ICTを活用した校務の効率化を通じて業務は改善したか」である。特に「家庭への調査等に関する事務」「教職員等会議に関する業務」について、「あまり軽減していない」という回答であるので、改善する必要がある。</p>	<p>生徒質問紙調査の結果にみられる特徴と現状</p> <p>全国と比較して平均を上回っている項目は「国語への関心等」「理科への関心等」「規範意識」「自己有用感」「生活習慣・学習習慣」であった。平均を上回っている項目は、今後も向上するように継続して取り組んでいく。平均を下回っている項目は「数学への関心等」であった。特に「数学の勉強は好きですか」「数学の授業内容はよく分かりますか」について、当てはまらないと回答した生徒が多い。学習面の傾向として、家庭学習の時間が少ないことは、テレビゲーム・スマートフォン等を使用する時間が長いことが要因と思われる。生活面の傾向として「学校が楽しい」と積極的に回答する割合がやや低く、「学級での話し合いを生かし、努力して取り組むことができている」と考えている生徒の割合がやや高い。</p>	
＜改善策・検証方法＞		
<p>改善目標</p> <p>（国語） ・主体的・対話的な学習を取り入れ、確かな国語力を身につける。 ・ものの見方や考え方を捉え、自分の考えを記述する力を高める。 （数学） ・数学的に考える資質・能力を育成する。 ・問題解決の方法を数学的に説明する等、自分の考えを記述する力を高める。 （理科） ・実験・観察の結果や学習課題を解決する方法を見直す学習活動を重視し、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・実験結果を分析して解釈し、考察を記述する力を高める。 （学校質問紙） ・ICTを活用した校務の効率化を図る。 （生徒質問紙） ・「学級活動」の時間に学校生活の課題を見出し解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・家庭学習の充実、生活習慣の見直しを進める。</p>	<p>改善方策（どのような取組をいつ・どの程度行うか）</p> <p>・教科会議で指導法について共有する。 ・朝の学習で基礎力を身につけさせる問題に取り組ませる。 （国語） ・授業では、言語活動を行う際に、話し合いの手立て・書き方・読み方を明示し、主体的・対話的な学習を行う。記述式の問題に取り組ませる。 （数学） ・授業では、既習事項を活用して新しく学習する問題を解決する方法を考えさせる。また、自分の考えを記述し、他者に伝える場面を設定する。 （理科） ・授業では、実験・観察の立案や結果の見直しを持たせる際の視点から主体的に学習に取り組ませる。また、実験結果を考察し、記述する取組を行う。 （学校質問紙） ・家庭への調査等に関する事務、職員会議に関する事務についてICT活用を高める。 （生徒質問紙） ・「学級活動」の時間に学校生活の課題を見出し、解決するために話し合う活動を積極的に実践する。 ・学習習慣・生活習慣について、学級活動、学年だよりの保護者会等を通じて改善を図る。</p>	<p>検証方法（いつ・どのように検証・評価するか）</p> <p>・取組の状況・改善策を教科会議（毎月1回開催）で話し合う。 （国語） ・主に授業、定期テストをもとに評価する。思考を経た表現力（記述する力）の評価については、要点を捉えて記述しているか、問題の条件や指示に従い解答しているかを丁寧に見る。 （数学） ・主に授業、定期テストをもとに評価する。思考を経た表現力（記述する力）の評価については、解答に至るまでの過程を丁寧に見る。 （理科） ・主に授業、定期テストをもとに評価する。思考を経た表現力（記述する力）の評価については、課題に正対して考察を記述しているかを丁寧に見る。 （学校質問紙） ・ICT活用の現状と活用機会の拡充について、企画会議等で話し合う。 （生徒質問紙） ・学年会議等で学級活動の取組状況、改善策について話し合う。 ・保護者会、保護者面談時に生活習慣の改善について話題にし、改善策を話し合う。</p>

令和4年度に何が書かれていたかな？
S中学校のものを参考に見ていきましょう！



特にここに書かれていることが学校全体でどれだけ共有されているかが大切ですね。



「改善方策」には具体的にこのようなことが書かれています。ほんの一部ですが紹介します。



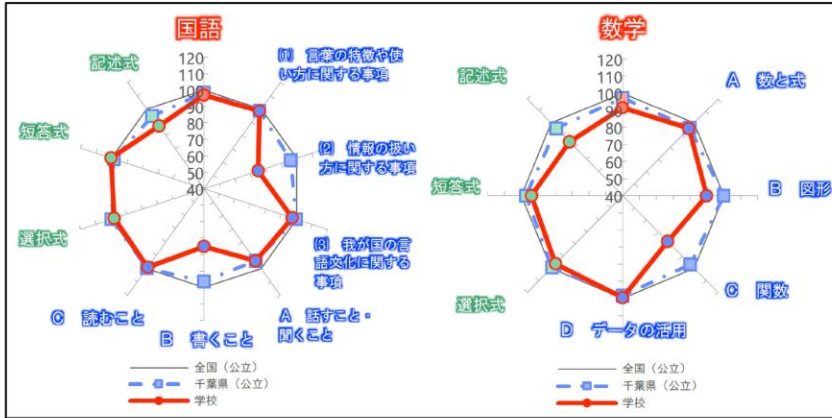
- ・教科会議で指導法について共有する。
- ・言語活動を行う際、話し合いの手立て・書き方・読み方を明示する。（国語）
- ・記述式の問題に取り組ませる。（国語）
- ・既習事項を活用して新しく学習する問題を解決する方法を考えさせる。（数学）
- ・自分の考えを記述し、他者に伝える場面を設定する。（数学）

【ポイント2】

1年間の成果が「令和5年度全国学力・学習状況調査」にどのように表れているかを分析する。

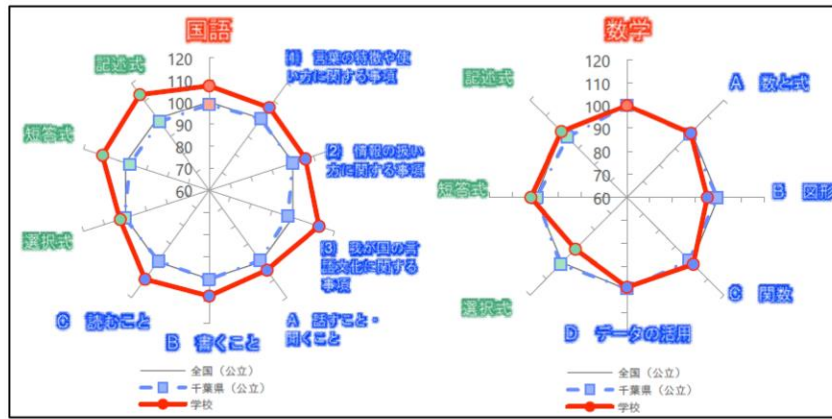
S中学校の令和4年度実施と令和5年度実施の結果

【令和4年度】



国語も数学も昨年度の分析結果を踏まえ、学校全体でどのように改善していけばよいのかを検討した結果の成果だと思われます。特に国語の記述式では、先生方が常に意図的に記述場面を設定していたことと感じます。数学においても令和4年度の分析を受け、数学科としての課題を明確にして授業実践した結果が出ています。

【令和5年度】



【ポイント3】

次年度に向けた課題点を指摘・共有する。

成果の出ている良好な取組は続け、課題を改善するために具体的にどのように取り組んでいくかを考え、共有することが大切です。



自校の現状をしっかりと受け止め、児童生徒が「わかった！」「できた！」と感じる授業を行うことが成果へと結びついていくと思います。まずは、「基礎・基本」の定着を目指して取り組んでみてください。

